

来る縣社のお祭りに 屋臺が全町を練り廻る

三丁目邊が中心で準備中

昨秋かき天長節を句に控へ、來月十六日から三日間に亘つて行はれる平町縣社御祭りに、日嗣の御子御降臨のハチ切れさうな奉祝気分が拍車され、一層の盛況を意気込み各町内共既に夫々準備計を始めてゐるが、殊に總ての意味に於て町の中心たる立場に在る三丁目では出物として逸早く踊り屋臺を計劃し、急ぎ決定の段取りとなり、寄附金さへ大抵纏つたと傳へられてゐる。由來この屋臺には一祭り二千圓からの經費を要し、景氣の衰へ切つた時代には思ひ乍ら之を差支出した祭りに氣分を高揚する事が出来ず町内に於ける斯うした方面に於ける所謂中堅處は常に切迫腕腕の態であつたが、地元の寄附は勿論所費の抽出上大關係ある某方面の諒解も大体ついたとあるから此の一事だけでも今年の縣社祭は今から期待するに充分なものがあるらし。

郡出身の諸勇士

靖國神社へ合祀さる

雄魂毅魄餘榮に笑まん

日支事變に名譽の戦死を遂げた本郡出身の左記諸勇士は四月廿五日よりの靖國神社大祭りに合祀される事となつた。

來十日の忠魂祭に 兩常設館を開放

戦病死者遺族を優待

郡出身戦病死者を祀る忠魂祭式典は既報の如く來月十日執行されるが、平町では當日遺族約二百名に對し、世界兩館を無料觀覽せしむると。

御降誕記念

町民に植樹奨励

明後四月二日より三日間の平局に於ける去月中の職業別統計

磐女試験合格

二三年へ計九名

磐女校の編入試験は昨日午前九時から執行したが、二年生八十三名、三年生六名計十九名中左記九名が許可された。

第一新配置

退職担任各二名

平第二校の新年年度級担任左の如し
第一組 海老原英、二組 仲村操、三組 山森タマ、四組 田中イサ、二一組 志賀ナカ、二組 大和田サ校へ

磐中合格者氏名

三十日午後四時発表

夫 上坂常善 鈴木正 豊田豊 鈴木将夫 阿部 一二 堀英一 佐藤忠 安藤光男 江尻昇賢 秋山慎平 中山廣成 緒形 惟孝 青木宏宏 古川淳 菅田勝之 吉田幸男 田徳一 和山泰美 熊谷 喜代美 片桐一雄 丹原 千文 鈴木勇次郎 丹原 猪萬夫 政井善八郎 佐藤孝司 矢田部久一 藤 葉行雄 興津三郎 高木久 宗像謙一 佐藤一 夫 香取博 大越重信 関口靖夫 草野行雄 石川四郎 相川信雄 猪狩 友良 橋本喜彦 鈴木康 太郎 藤田寛 桑谷康 徳岡憲太郎 吉田富三郎 赤津敬二郎 若佐四郎 草野陽吉 大友正衛 中根善衛 大森清二郎 新妻武久 吉田登 安齊市 雄 宮内金男 佐川清 大塚敏一郎 諸橋富彌

農家の電報利用

平局の去月中の職業別統計

石炭 九六一七三
乾物 八八八八
荒物 七九八九
機械工業 七九八九
織物 六九八九
旅館 六九八九
鮮魚 六一六
官公署 五三三
株式仲買 四八四
株式仲買 四八四
其他 六〇三三〇

自然の美

あすは四月

酒が 氣分の明るい季節

色々な物が出来る

平町昨年中の生産調へ

最近の調査にかゝる平町昨年中の各種生産額左の如く多岐町氏の殆ど氣のつかなかつた色々な物の出来るの驚かれる。

別檢舉から暴露

怪事件が暴露する迄

怪事件が暴露する迄

松丸太を揮つて

瀕死の傷を負はす

湯本の亂暴連手檢舉

貸出しの好餌を掲げ

インキキ金融魔平署で檢舉

洋託殖ビノ内帝都證券株式會社監査役同社社員會社、同社株式會社取締役、同社社員山一ノ二七八、廣島縣生元日大講師太田徹夫(三)外關係者数名を、法主、安藤刑事部長が一取調を進めて居るが、内容打合せの上、昨日四月金融會社、大塚敏一郎、諸橋富彌、野芳正、上野一夫、鈴木未成、年者不可の附添を席に對しては入學を取消す、遠平、鈴木晋夫、荒川勤、要し保護者の不参及無届欠場合があると、久田武弘、久田隆太郎、鈴木武司、伊藤光政、矢萩芳男、松尾匡博、白川昌利、足賀一、鈴木敏光、齋藤義實、花野渡一、矢内弘、鯨岡一彦、渡邊一片、宮三雄、渡邊武治、赤松武雄、渡邊浩二郎、澤田四郎、坂本登、御代次男、瀬、良男、小林弘、小泉美則、橋本通、野宮敏一、鄭聖旺、木田晋平、志尾崎仁、渡部信雄、花澤秀道、荒四郎、門野仁、上妻伴吉、宮本英吉、渡野辨昌、阿部政一、渡邊野郎、菊地惟起、長岡毅、渡邊博行、本喜三郎、鈴木伸、松本徳男、倉川清洋、山田三郎、大谷勝之、樋口儀吉、淺田登美男、鈴木龍一、大平芳人、岩塚達、大野武彦、佐藤清、宮本規、福田直右、工門、渡邊正男、久野生勝夫、木川多聞、茂村生隆、芳賀次男、萩保二、菊田隆、阿部一郎、高田四、因に四、午後一時から行は木信人、箱崎貞治郎、水るる入學式には必ず保護者

江口氏八千圓を寄附

小川江第一期工事完成

小川江第一期工事完成

大塚の學生靴

景品附きの特賣

大塚製靴部

安齊外科醫院

安齊外科醫院

新 第一首 安達郡田校長 菅波 國尚 第二 新卒 橋本 武夫 第三 玉川 小松 政一 第四 同 根本 一 第五 同 吉田 治藏 第六 同 大須賀百世 第七 同 古市 克恵 第八 同 耶麻郡 高畑正次郎 第九 同 堂島 常磐三郎 第十 同 木葉郡 常磐三郎 第十一 同 雙葉郡 常磐三郎 第十二 同 花澤 武夫 第十三 同 田村郡 三本杉國雄 第十四 同 常陸郡 大竹 豊雄 第十五 同 西巻 清富 第十六 同 小泉 公明

函館義捐金 五丁目 六十八圓、累計五區三 百一圓五十錢

松丸太を揮つて 瀕死の傷を負はす

別檢舉から暴露

貸出しの好餌を掲げ

農家の電報利用

御降誕記念

磐女試験合格

來十日の忠魂祭に

大塚の學生靴 景品附きの特賣 大塚製靴部 平町町赤心堂病院(電話四七五番) 安齊外科醫院